



キャリア  
これからの自分を創る!

# CAREER PATH GUIDE

大学院生のためのキャリアパスガイド **2026**



新潟大学 大学院教育支援機構  
PhDリクルート室  
PhD Recruitment and Career Development Office



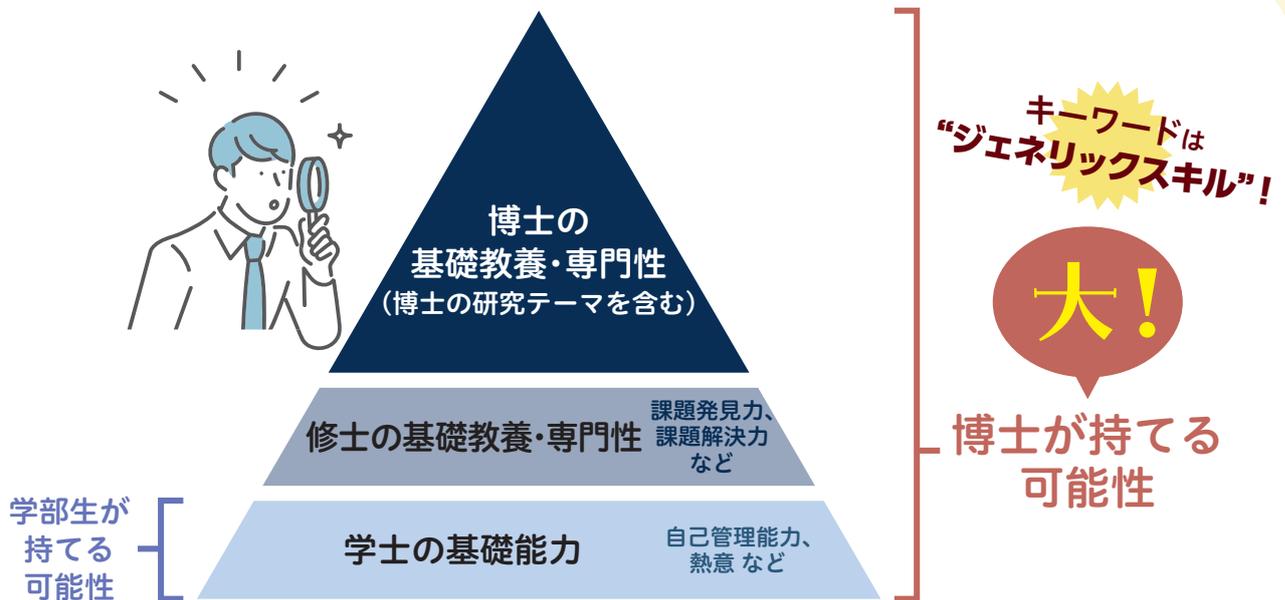
# これからのキャリアをどのように考えていますか？ 今、「博士」への期待が高まっています！

未来予測が難しい今、企業の発展や成長を支えるための事業企画や研究企画、そして先端研究の分野がますます重要になっています。これらの分野をリードし、世界で活躍できる高度な専門性を持つ人材が博士であり、その役割は重要視されています。また、博士・博士課程（DC）修了者を採用する企業が増加しているといった報告もあります。

博士・博士後期課程（DC）の学生は、研究に打ち込む時間を十分に確保しながら、将来の挑戦に踏み出せるようにキャリア形成についても自ら考えていかなければなりません。新潟大学では、産業界でもアカデミアでも必要な論理的思考力・ジェネリックスキルを身につけることのできるセミナーや、キャリア面談などのサポート体制が整っています。

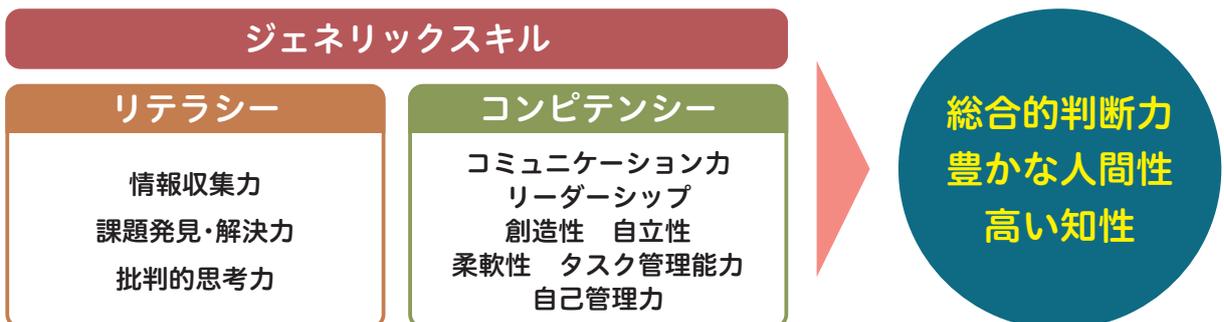
キャリア形成の第一歩として、このパンフレットをぜひご覧ください。

出典：文部科学省科学技術・学術政策研究所「民間企業の研究活動に関する調査報告2024」2025年6月



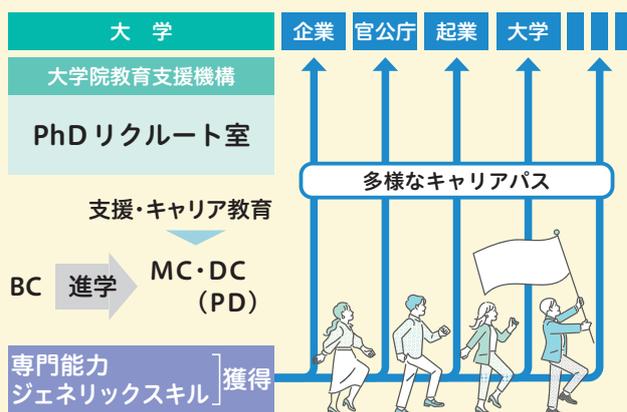
## ジェネリックスキルとは？

トランスファラブル・スキル（転移可能な能力）とも呼ばれる「分野に関わらず様々な状況のもとで適用できる高次の能力」のことで、現在では世界的に求められる能力になってきています。将来の予測が困難な現代だからこそ、博士・博士後期課程（DC）で専門力だけではなく様々なチカラを身につけていきましょう！



# PhDリクルート室での支援

どんな場面でも専門知識や研究能力を発揮するための“ジェネリックスキル”を獲得できるセミナーを開催しています。また、プレゼンテーションスキルを磨くとともに企業等との接点を作れる参加型マッチングイベント「PhDリクルートフォーラム」やインターンシップなどの機会も提供しています。これらの支援により、博士・博士後期課程学生（DC）のキャリア形成を後押しするのが当室の役割です。



## M1/M2 将来の見極め

大学教員だけでなく、産業界や省庁においても高度人材として博士号取得者が求められています。しっかり情報収集をしましょう。

## D1/D2 積極的な活動

D1の期間に、研究に注力しながらジェネリックスキルを身につけ、自身のキャリアパスを広げましょう。企業就職を目指す場合、D2は就職活動のメインの時期。積極的に産業界との接点を作りましょう。

## D3/D4/PD 可能性の追求

博士人材のニーズは高く、チャンスはまだ多くあります。焦らずに学位取得に向けて研究に集中しながら、企業との接点を広げ深めましょう。D1/D2の皆さんだけでなく、選択を悩む際は、PhDリクルート室にご相談ください。

### 多様な未来へ！

学ぶ	培う	挑む
<p>社会の事例や先輩の経験をまずは知りたい！</p> <p>博士のキャリア事例を学ぼう</p> <p>01 博士のためのキャリアマネジメントセミナー</p> <p>02 未来の博士ゼミ</p>	<p>どんな場面でも使えるスキルを身につけたい！</p> <p>持てるスキルを「真の力」としよう</p> <p>03 キャリア相談</p> <p>04 ジェネリックスキルセミナー</p>	<p>自分のキャリア選択をしたい！</p> <p>学外に出て、自分の力を試し伸ばそう</p> <p>05 PhDリクルートフォーラム</p> <p>06 企業研究サイトビジット</p> <p>07 ジョブ型研究インターンシップ・インターンシップ</p>

### 大学院生間の交流促進

<p>研究や生活を充実させたい！</p> <p>08 博士交流会</p> <p>◆mini column メディアライブラリ</p>	<p>研究室や大学を飛び出そう</p> <p>09 新潟大学院生会</p> <p>10 博士人材育成コンソーシアム連携活動</p> <p>◆mini column 博士ポータル</p>
--	--

### 博士支援制度

<p>充実した支援制度を活用しよう！</p> <p>11 博士支援制度</p> <p>◆mini column 学振採択申請書WEBライブラリー</p>
--

●...M1・M2   ●...D1・D2   ●...D3・D4・PD

社会に必要な知識と  
博士のキャリア事例を学ぼう

博士・博士後期課程学生（DC）や博士研究員（PD）の皆さん、そして修士・博士前期課程学生（MC）の方々は大学院や研究室で専門知識を身につけ、研究スキルを磨いていると思います。実は、その深掘りの専門性だけでは世の中に求められる人材になるのは難しいのです。

大学院での研究は基本的に一人で実施することが多いのに対して、企業での研究や開発は、ほとんどがチームで進みます。そのため、仕事を成果につなげていくためには、リーダーシップやコミュニケーション能力、アントレプレナーシップなど研究以外の知識やスキルが必要です。また、企業の研究成果は学術誌への論文発表よりも知的財産権（特許権など）の獲得が優先されます。

このように、現在の研究室とこれから皆さんが活躍する社会では手段・手法・優先順位が異なるため、研究以外の知識やスキルも皆さん自身で身につけていく必要があります。当室ではこのような知識の獲得をお手伝いします。

### 2026年度は右記の15コマを実施します！

- 対象：BC、MC、PDも希望者は聴講可能
- 詳細：シラバスをご覧ください。

「修士のためのキャリアマネジメントセミナー」の詳細についてはシラバスをご確認ください！

### インタビュー



自然科学研究科  
博士後期課程2年（DC2）

王梓

本セミナーは、16週にわたり各回異なる講師による多彩な講義を通して、実際のキャリア形成の具体例を学ぶことができる大変充実した授業でした。さらに、授業後には自由に質問できる機会が設けられており、講師の方々から丁寧な回答をいただくことで、より深い理解を得ることができました。このような構成により、受講者一人ひとりが将来を考える上で多くの参考を得られ、キャリア形成に向けた視野を広げる貴重な機会となりました。

特に印象に残ったのは、理工系からデザイン分野へ転身された講師のお話です。博士課程で情報系へ進んだ自分とは真逆の道を歩まれた先生の考え方や挑戦の姿勢は新鮮で、大きな刺激を受けました。また、理工系の女性研究者の講義では、長期的なキャリア構築や柔軟な働き方など、実践的な示唆を多く得ました。

全体を通じて、専門性を磨くだけでなく、社会で価値を創出しイノベーションを実現するための力とリーダーシップの重要性を再認識しました。進学を志す学生にも、就職を目指す学生にも新たな視点と気づきを与えてくれる、非常に有意義なセミナーだと感じます。

新潟大学PhDリクルート室 2026年度講義	
博士のためのキャリアマネジメントセミナー	
1 博士として活躍するために 4/4 弥富 洋子 新潟大学PhDリクルート室	2 起業力① 4/21 伊藤 龍史 新潟大学経済学部
3 起業力② 4/28 伊藤 龍史 新潟大学経済学部	4 起業力③ 4/2 伊藤 龍史 新潟大学経済学部
5 知的財産① 5/9 宮田 敦久 新潟大学社会経済学系	6 知的財産② 5/26 宮田 敦久 新潟大学社会経済学系
7 経営経験者から学ぶ① 4/2 手嶋 俊一郎 経営者博士の会	8 経営経験者から学ぶ② 4/9 木下 泰三 経営者博士の会
9 経営経験者から学ぶ③ 6/16 川口 幸男 経営者博士の会	10 経営経験者から学ぶ④ 6/23 坪井 正志 経営者博士の会
11 産業界で活躍する博士① 6/30 金子 真也 トヨタ自動車株式会社	12 産業界で活躍する博士② 7/7 加藤 芽里 キオクイン株式会社
13 産業界で活躍する博士③ 7/4 前田 智広 株式会社エヌエフ	14 産業界で活躍する博士④ 7/21 長谷川 隆代 SWCC株式会社
15 産業界で活躍する博士⑤ 7/28 瀬戸 康希 株式会社ノリナック	お問い合わせ先 新潟大学PhDリクルート室 phdrecruit@sunigata-u.ac.jp

### 受講者の声

- 就活における実用的な知識を学ぶことができとても有意義な講義でした。統合報告書や有価証券報告書はこれまで見たことがなかったのですが、同じ業界の複数社で迷ったときに非常に有用で、ぜひ使おうと思いました。
- 院生卒で民間企業に就職した後、どのようなキャリアを経験できるのか分からない部分が多かったため、実際にお話を聞いて、今後のキャリアビジョンがより具体的になりとても参考になった。
- 日頃よく目にする広告の裏側にある戦略や思いに触れられて、とても刺激的だった。また、最後の質疑で常に自分の好きなものを追求し続けることが大事であると述べられ、既存のマニュアルよりも自身の内に秘めたものに目を向け続けることがイノベーションにおいて重要であることを学んだ。
- 起業に伴うやりがいや苦勞、責任感、期待と不安など、現実的な側面に触れることができ、大きな刺激を受けた。今の自分には経験や覚悟が足りないと感じるが、将来的に何らかの機会が訪れたときには、今回の内容を思い出し、選択肢の一つとして前向きに考えたい。
- 社会で役立てたり最終目標を達成するには最先端のものや素晴らしいだけ、ただ研究をするだけでは人の生活は変わらず、デザインの視点を持ってどのようにして社会実装するかということを考えることが重要であると理解しました。今回学んだことを活かし、デザインの視点を持ちながら研究等に取組みたいです。
- 「お客様が求める効果を科学的に証明するのが大変」という言葉が非常に印象的でした。論文を書くにあたって、私もこの点に苦勞していますが、将来にも活かせるのだと感じました。
- 問題と課題の違いをしっかりと認識し、最後に仰られていた「自身の専門分野で、どのような社会問題・自分の課題を解決したいですか？」という問いを忘れずに、自身の研究に取り組んでいきたいです。

## 未来の博士ゼミ 先輩と描く博士号取得後のキャリア

博士号を取得後、産業界またはアカデミアで自身のキャリアを構築している先輩たちを招き、キャリア選択の事例を聞くとともに、それに至る葛藤や決断など皆さんが最も気になる部分の情報を提供します。博士号取得の過程と進路を決めたきっかけ、準備したこと、そのためのプロセスなど、調べるだけでは得られない生の声を収集できる貴重な機会です。また、産業界とアカデミアの違いなど、現在の実務的な環境に関してもお話を聞くことができます。2026年度は11月18日（水）に開催予定です。



新潟大学  
博士号取得後のキャリアを考える

# 未来の博士ゼミ

大学 & 企業就職

2025  
10/22 Wed + 希望者のみ  
13:30-17:00 情報交換会 17:30-20:00

谷口 諒太郎 新潟大学 工学部 博士課程修了  
中野 泰河 新潟大学 工学部 博士課程修了  
尾山 裕介 桐蔭横浜大学 工学部 博士課程修了  
住吉谷 瞭歩 一般財団法人光科学イノベーションセンター 博士課程修了

### インタビュー



自然科学研究科  
博士後期課程1年(DC1)

田村 駿

将来の進路について悩んでいたことから、博士号取得後のキャリアについて産業界とアカデミアの両方で活躍されている先輩方のお話を聞けると知り、本セミナーに参加しました。体験談を通して、それぞれの分野の特色やキャリア選択に至った理由など、貴重なお話を聞くことができました。特に、「博士後期課程で培われるスキルがキャリア選択をする際に重宝される」という話が印象に残りました。研究力のみならず幅広いスキルを身につけることの大切さを実感しました。また、本セミナーでは過去・現在・未来をテーマにマインドマップの作成を行い、思考を可視化することで頭の中を整理することができました。キーワードをつながげながら、何になりたいのか、そのために何が必要か、など自身の未来像について改めて考えるきっかけとなりました。博士学生のみならず、博士進学を検討している学生にとっても、自身の将来を考えるうえでとても良い経験になると思います。

### 先輩からのメッセージ



一般財団法人光科学イノベーションセンター  
ビームライン部  
新潟大学大学院  
自然科学研究科2023年度修了  
博士(工学)

住吉谷 瞭歩

博士後期課程の研究で積み重ねた試行錯誤や粘り強い探求を通して、未知の事柄に挑戦する姿勢や問題解決の考え方を身につけることができました。私は学術・産業界という枠を超えて多様な分野の研究者と協働したいという思いから、国内外の研究者に利活用されている3 GeV高輝度放射光施設 NanoTerasu で働く道を選びました。学生時代は物性物理学の分野で理論研究を行っており、放射光実験の技術や専門外のテーマには馴染みがありませんでしたが、現場でのコミュニケーションの中で知見が広がり、周囲と対等に意見交換をしながら自分の役割を果たせることが仕事のやりがいです。博士後期課程在学中は目の前の研究で精一杯かもしれませんが、学位の取得はあくまで通過点にすぎません。皆さんが社会人になってどのような姿で活躍したいかを想像し、そのために何をすべきかを考えながら日々の研究に取り組んでみてください。



桐蔭横浜大学  
新潟大学大学院  
現代社会文化研究科2016年度修了  
博士(学術)

尾山 裕介

博士課程での研究は、思うように進まない時期や悩む時間も多と思います。私もその一人でした。それでも、研究の面白さや新しい知を生み出す喜び、自分の問いに向き合える時間は博士課程ならではの魅力です。ここで培った研究力はもちろん、マネジメント力や問題解決能力、人脈づくりなど、多くの経験が現在の業務に役立っています。博士号の取得は「ゴール」ではなく「新しい挑戦の始まり」であり、博士課程での経験は皆さんの可能性を大きく広げ、将来を支える力になるはずです。また、私が在学していた頃は博士課程同士の交流やサポート体制が今ほど整っておらず、孤独を感じる場面も少なくありませんでした。皆さんには、PhDリクルート室のスタッフ、ご家族、ご友人など支えてくれる方々が身近にいるはずです。困ったときは一人で抱え込まず、頼ってください。皆さんが博士号を取得し、自分らしいキャリアを切り開いていくことを願っています。

## キャリア相談 博士学生・博士進学を目指す学生

博士・博士後期課程学生（DC）、博士研究員（PD）の就職活動は、修士・博士前期課程（MC）までと異なり通年行えるのが特徴のひとつです。つまり、いわゆる“就活時期”に限らず情報収集や自己分析、そしてエントリーが可能です。PhDリクルート室は、活動の時期や方法がバラバラなことで悩まされるDC・PDの就活を支えます。キャリア相談を活用し、研究と就活の両立を目指しましょう。

また、就活関連のみならず、博士・博士後期課程（DC）への進学を含めた広範なキャリア形成もお手伝いしています。相談は通年受け付けていますので、お気軽にご相談ください。



1. 博士人材が抱える個別の状況や事情の相談を受けます
2. 獲得したスキルを活かす進路を一緒に考えます
3. 博士人材を要望している企業との接点を作ります

## インタビュー



医歯学総合研究科  
博士課程3年(DC3)

山崎 智也

博士課程の進路として企業就職かアカデミア就職かで迷いがあり、今後の方針を整理するためにキャリア相談を利用しました。相談を通じて、自分の強みを改めて整理できたことが大きな収穫でした。これまで異分野融合的な研究に携わってきた経験から、専門分野外にも応用できる解析スキルを培ってきたことや、その強みを活かした進路の選択肢があることを再認識できました。

また、博士課程の就職活動には明確な時期がないことが不安でしたが、自分のタイミングで相談できた点も心強く感じました。さらに、企業研究サイトビジットなどの企業研究の実際を知る機会につながるイベントを紹介していただき、企業での研究職への理解を深める助けとなりました。

同研究科内で気軽に相談できる相手が少ない状況だったため、今回旭町キャンパスまで来ていただいて直接お話しできたことは、大変貴重な機会でした。今回の相談を通して、自分の進路についてより前向きに考えられるようになりました。

## こんな相談にお答えしています！

## 修了後のイメージが漠然としていて行動できない

ご自身の価値観や現在の進路選択の理由についてヒアリングし、「どうなりたいか」を引き出すお手伝いをします。

## 博士支援の状況について具体的に知りたい

p14に掲載している支援制度のほか、民間の研究支援制度や社会・企業からの期待やニーズについてもお伝えします。

## エントリーシートの添削・面接練習をしてほしい

企業目線で評価される箇所や分かりやすい伝え方についてファイルの添削や面談でもお伝えします。

## 博士・博士後期課程（DC）に関する情報が欲しい

進学したいが決断できないという方へ、新潟大学における博士・博士後期課程（DC）に関する情報や事例をご紹介します。

## ■相談方法

PhDリクルート室HPの相談フォームで相談予約

## 【入力項目】

- 所属・専攻・学年 ●お名前 ●研究テーマ・概要
- 相談内容選択
  - 博士・博士後期課程（DC）への進学 ○支援金・奨学金
  - 就職活動・面接練習・添削 など



相談予約受付後、日程調整のご連絡をお送りします

➔ **相談日に来室またはオンラインで面談**

**予約なしでの来室も可能です！**

**お近くをお通りの際はぜひ気軽にご相談ください**

## ジェネリックスキルセミナー

課題解決や円滑なコミュニケーションに役立つ実践的な能力を身につけるための“ジェネリックスキルセミナー”。講義形式で聞くだけでなく、演習も交えてスキルを獲得できるセミナーです。日々の研究活動でも社会に出た後でも、成果を出すために重要な素養を高めていきましょう！

## 1 研究者のためのビジネスマナー 未来を切り開く自己表現&関係構築法

講師 A.T.PLANNING代表 高原 温子

開催 2026/ 5/29(金)

### インタビュー



医歯学総合研究科  
博士課程1年(DC1)  
五十嵐 梨紗

博士課程に進学して社会人としての将来をより具体的に意識し始めた今、知っているようで実は明確なルールは曖昧だったビジネスマナーをきちんと学ぶべきだと思い、このセミナーに参加しました。

服装や話し方、話しているときの態度など、社会人に求められる基本を幅広く教えていただき、実践形式ですぐに練習できる充実した内容でした。さらに、参加者同士のロールプレイングや先生からの丁寧なフィードバックを通して、自分の話し方の癖や姿勢の傾向、表情の使い方など、普段は意識できない点に気づくことができました。

ビジネスマナーを学ぶことは、自分が社会人として恥ずかしくない行動を身につけるだけでなく、相手に信頼感や安心感を与え、自分をより魅力的に見せる力を養うことでもであると実感しました。

社会人のみならず、学会発表や企業面接など人前に立つ機会の多い学生さんにも、ぜひ受講をおすすめしたいセミナーです。

## 2 交渉学 戦略的交渉力:しなやかな対話力を身につける

講師 東京富士大学教授 隅田 浩司

開催 2026/ 6/17 (水)

### インタビュー



自然科学研究科  
博士後期課程2年(DC2)  
山際 大雅

博士学生と交渉力は一見繋がりが無いようにみえますがセミナーの中で講義を受け、実践をしてみると実は研究者にとって非常に必要なスキルであることがわかりました。自身はどちらかというと交渉力がある方だと思っていましたが、実際に参加者同士で話してみると改善すべきところが見つかることができました。講師の先生のお話を一方通行で聞くのではなく、自分だったらどのように話そうか、どのような話の流れをつくらうか等を考えながら受講できたので学びも大きかったです。また、大学での講義や研究だけでは交渉力を学ぶことは中々ありませんでしたので、相手を論破するのではなく、お互いの合意点を探ることの重要性と難しさを知る良い機会だったと思います。

セミナーと聞いてハードルを高く感じる方もいるかもしれませんが、在学中はもちろん卒業後も役に立つスキルを身に付けることができる機会ですので、是非多くの学生の皆さんにも参加してほしいです。

## 3 プロジェクトファシリテーション 課題解決を加速する

講師 古河電気工業株式会社戦略本部 DX&イノベーションセンター事業DX推進部 主幹 関 尚弘

開催 2026/ 5/22 (金)

### インタビュー



医歯学総合研究科  
博士課程1年(DC1)  
吉田 馨太

社会人大学院生である私の視点から見て、今の学生さんたちは、こんなに実践的で有用なセミナーを受講することができるのか！これが率直な感想でした。

このセミナーで学ぶスキルは、社会人になってからはもちろん、学生生活やゼミ、バイト先などでも活用できるものであると断言できます。私自身、今までは個人的な感覚で会議を進めていましたが、受講後は以前よりスムーズに場を回し、確かな成果に繋がっていると実感しています。仕事の現場はもちろん、学会の計画、家族間のやり取りなど立場もシーンも様々。非常に汎用性の高いスキルです。

この講座では、前半で理論を学び、後半で参加者同士の演習を通して、技術としてしっかり習得できます。演習で、それぞれの個性を発揮して形にしていく様子は、とても印象的で学びになりました。

ファシリテーションは感覚ではなく誰もが技術として習得できる技術です。日本に1人しかいないファシリテーションのプロから学ぶ、貴重な機会を逃さないください。



## PhD リクルートフォーラム

博士人材と企業・研究機関とが直接交流できるマッチングイベント「PhD リクルートフォーラム」では、就職のための情報交換だけでなく、プレゼン演習を通してPRできる自分の強みの認識、そしてポスター発表でご自身の研究に対するアドバイス・フィードバックを獲得できる等、スキルアップや研究活動の推進にも大きく寄与しています。準備期間および終了後のサポートも活用することで高効率な情報収集・就職活動ができ、博士・博士後期課程（DC）での研究に専念する時間の確保にも繋がります。2026年度は第11回を9月10日（木）に開催します。

1. 様々な企業を知る機会 ～学外の社会人（企業の方）との出会いの場～
2. キャリア形成のための研鑽の場
3. 博士学生のネットワークを広げるとともに互いに切磋琢磨する

この場で社風や活躍できる分野の確認、企業訪問や中長期インターンシップの実施に向けた具体的な話を進めることも可能です。

## 2025年度参加企業・博士人材

第10回 13社

北川グレストック キッコーマン キリンホールディングス  
グローバルウェア・ジャパン 三栄源エフ・エフ・アイ  
産業技術総合研究所 TDSE トクヤマ ナミックス  
日本入試センター 村尾技建 Ridge-i レゾナック

博士人材：24名

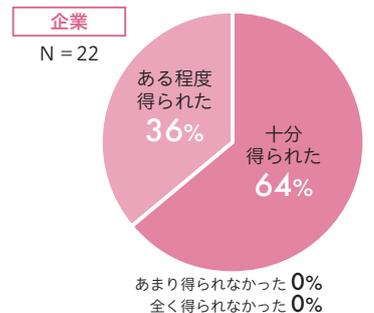
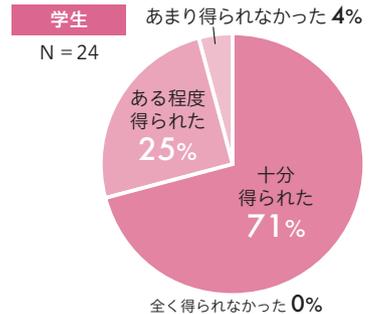
## 学生参加者の声

- 研究といえば「大学」というイメージが覆り、企業もさまざまな研究開発に取り組んでいることを知ることができた。
- 地元の企業でも、博士学生を必要と考えている企業がいたことには驚きました。
- ブースでは各企業様が自由に製品紹介や各学生に合った研究紹介をしてくださり、Webイベントではできない話ができたと感じました。
- 博士課程で身につけたジェネリックスキルがどの企業でも求められていることに気づいた。
- 前回の参加も踏まえてになるが、幅広いバックグラウンドを持つ博士も求めていることがわかった。

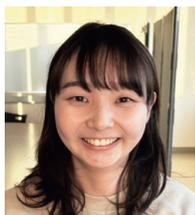
## 企業から博士人材への期待

- 専門性を突き詰めるのみならず、社会への応用をさらに意識してください。
- 博士を目指す皆さんの研究に賭ける情熱や熱意、能力の高さ、そしてコミュニケーション能力の高さに感動しました。社会をはじめ企業側ももっと博士人材について知る必要があると感じました。大学をはじめ、博士課程の学生の皆さんも、もっと社会にアピールしてください。
- 「広く浅く」興味を持ちながら課題を設定し、「深く論理的に」考えながら物事を実行し考察する力を大事にしてほしいと思います。社会にでると、博士課程で身に付けた専門性がそのままライフワークになることよりも、学際的に様々な課題に取り組むことがはるかに多くなります。専門知識やスキルそのものよりも、それらを学ぶ過程で得た「考え方や行動力」を活かして、課題解決の中心選手になってくれることを期待します。
- 生成AIを含め、AIの活用、データサイエンススキルを博士人材には身につけてもらい、それを自身の研究の発展、課題解決にフルに活用できるようになると、高度な研究者が増えていくのではないかと感じました。

## アンケート

Q. 有益な情報を収集  
できましたか？

## インタビュー



自然科学研究科  
博士後期課程1年(DC1)

川島 葵

私は、博士の就職活動の雰囲気を知りたいと思い、PhDリクルートフォーラムに参加しました。実際に参加してみて感じたのは、企業の方は研究分野や持っているスキル以上に、「どのような考えで研究に向き合っているのか」を重視しているということです。博士号取得者は、専門性によって進路が限定されるというイメージを持っていたため、その点は大きな発見でした。また、このイベントに参加して特によかったと感じたのは、企業の方々から発表内容についてフィードバックをいただけたこと、そして今後のキャリアに向けて身につけるべき力を具体的にアドバイスいただけたことです。大学内では限られたコミュニティでしか指導を受ける機会がないため、実際に企業で働く方々の視点で評価していただけるのは新鮮でした。

このイベントは、博士の就職活動の雰囲気を知ることができるだけだけでなく、新たな気づきも得られるので、特に志望企業が決まっていなくても参加をおすすめしたいイベントだと感じています。



現代社会文化研究科  
博士後期課程1年(DC1)

木野 恵吾

キャリアを考える中で、接点を持つ機会が少なかった企業・研究機関に関心を持ちました。その中でPhDリクルート室の先生方からもお誘いを受け、良い機会だと思い参加を決めました。

本イベントの利点を二つ感じました。まず準備時間が無駄にならない点です。丁寧な事前準備と演習が用意され、研究だけでなく、自分の過去や未来を考え直すことができました。研究と両立しながら就活ができたことはとても良かったです。二つ目は人物像を強くアピールできる点です。専門分野が被っていても、熱意やスキルを重視した自己アピールができます。これは少数精鋭である本イベントならではの点です。事前に互いがマッチング希望をとっていること、企業側が自分の情報を見ていることも大きく、普通の就活ではアピールしきれない点を活用できるのも良いと思いました。

総じて満足度の高いイベントでした。博士間の繋がりも強化できますので、興味がある方は参加してみてください。



# 06

## 挑む

企業・研究機関で実際に働く  
イメージを手に入れよう

# 企業研究サイトビジット

マッチングイベント等でお目当ての、あるいは思わぬ企業から研究所見学などのお誘いを頂いた場合、その機会を逃す手はありません。見学だけでなく自身の研究内容などのプレゼンも可能な場合があります。直接企業を訪問すると、実際に活躍している多くの研究者や先輩方と話すことができます。企業研究サイトビジットを経て、インターンシップや採用につながった実績もあります。

2026年度は、7月23日（木）にオムロン株式会社、サントリーホールディングス株式会社での開催、加えて1回の実施を予定しています。

1. 現場を見ることで研究機器・設備の充実に気づき、働くイメージを獲得できる
2. 企業の方への直接の研究プレゼンで自身の知識や研究能力を確認できる
3. 双方向の情報交流をすることでお互いの理解を深められる

〈過去3年間の実施実績〉 2023年度：国立研究開発法人産業技術総合研究所 / 2024年度：株式会社トクヤマ・TOTO株式会社 / 2025年度：株式会社レゾナック・ナミックス株式会社



### 参加者の声

- 企業理念やポリシーから、実際の研究内容や研究室を見せていただくことができ、充実感がありました。企業ならではのオープンな雰囲気や社員の方の働く姿勢から、アカデミアと企業の違いを強く実感できました。
- 研究所の設備や研究内容を実際に拝見することで、企業がどのように最先端の技術開発に取り組んでいるのかを具体的に理解することができました。特に研究員の方から直接説明をいただいたことで、教科書や記事では得られない現場感覚を知ることができ、大変有意義でした。

### インタビュー



自然科学研究科  
博士後期課程1年(DC1)  
小林 環

卒業後の進路として企業就職をはじめ、さまざまなキャリアをイメージするため参加しました。社員の方に最新の設備が整った研究施設を案内いただき、レベルの高さに驚くとともに、研究の質を最大化する環境が整っていることを実感しました。また、実験室以外の場所も単なる作業スペースではなく、研究者同士が自然に集まり、役職や部署を超えたディスカッションが活発になるよう設計されていた点も印象的でした。

本イベント参加前は、研究生活で耳にする「イノベーションの創出」という言葉のイメージが曖昧でしたが、組織の技術や知を合わせ、形にしていく環境を間近で見ることができ、イノベーション創出が単なる技術開発だけでなく、組織基盤に支えられた仕組みであることを感じました。アカデミアとは異なる、実用化を見据えた研究の進め方を肌で感じることができ、今後のキャリアに対する視野を広げる貴重な機会となりました。自分の専門分野とは異なる会社でも、研究における何かヒントが見つかるかもしれません。ぜひ参加してみてください。

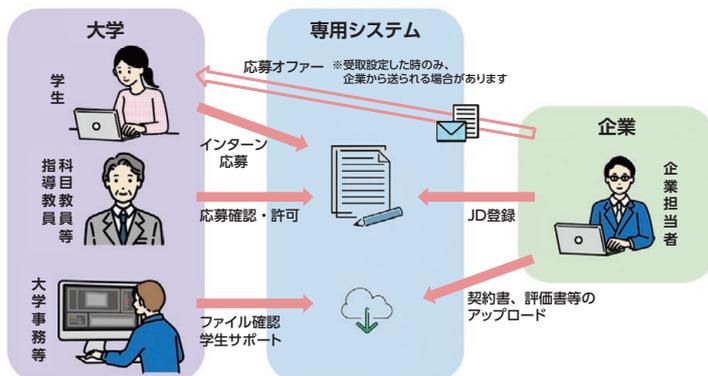
# 07

## 挑む

企業・研究機関で実際に働く  
イメージを手に入れよう

# ジョブ型研究インターンシップ・インターンシップ

産業界のグローバル化に伴い、研究職などの採用がジョブ型へ徐々に移行しつつあることはご存じでしょうか。ジョブ型研究インターンシップは企業活動を実体験することで企業の実際を知り、その企業での働き方などを確認するためにも非常に有効な方法です。企業としても博士人材に実際の業務を担当してもらうことで、その人物像、研究スキル、知識レベルなどを評価することができます。企業の現場に参加し、**研究の出口、納期、コスト**といった企業での研究の進め方を学び、自身が社会で活躍するイメージを手に入れましょう。



### ジョブ型研究インターンシップの 参加・実施の流れ

1. 専用システムへアカウント登録
2. 共通説明会へ参加
3. 各企業の職務内容を確認・プロフィール作成・応募
4. 企業選考・マッチング
5. インターンシップ参加
6. 面談・評価書受領
7. 学内報告会
8. 単位取得

**インターンシップに関するご質問は  
PhDリクルート室へご相談ください!**

出典：ジョブ型研究インターンシップ推進協議会資料

研究室の枠を  
飛び出そう

## 博士交流会

### 博士交流会

研究室・研究科・キャンパスの垣根を越え、分野融合・学際研究への発展など研究生活を充実させるため、「博士学生のための」交流会を学生企画で実施しました。2023年度に続き2025年度は第3回目（10月）の開催となり、今回は本学博士・博士後期課程（DC）が設置されている全4研究科から57名もの学生が参加しました。同じ大学の学生でありながら普段出会えない仲間と知り合い交流することができ、今後の研究のモチベーションにつながったという感想も参加者から寄せられていました。

また、以前は五十嵐キャンパスのみでの実施でしたが、2025年度より新たに旭町キャンパスでも展開しています。2026年度の実施時期は決定次第ご案内いたします。



### インタビュー



自然科学研究科  
博士後期課程1年(DC1)

内村 珠美

博士学生同士が交流する機会がほとんどない中、他分野の博士学生と話してみたいという思いから、思い切って今回のイベントに初めて参加しました。実際に参加してみると、自分の研究室では出会えない異分野の研究をしている学生はもちろん、これまでお話ししたことのなかった隣の研究室の博士学生とも交流でき、日々の悩みや研究の進め方、さらには趣味の話題まで、想像以上に幅広い情報交換ができました。運営の方が名刺を用意してくださっていたおかげで、初対面でも会話が始めやすく、自然と輪に入ることができた点もありがたかったです。分野や国籍の異なる多様な背景をもつ参加者との交流で、新しい視点を得られたことが大きな収穫でした。また、研究へのモチベーションも高まり、自身の研究もより一層努力しようと思いました。

研究室生活だけでは得られない刺激が多く、改めて博士学生同士が繋がる場の重要性を実感しました。今後もぜひ参加したいです。



mini  
column

### 先輩のリアルな声が聴ける！メディアライブラリ

#### なぜ博士・博士後期課程に進学したのか？ 進学して感じた博士の強みは？

当室が提供する講義やセミナーに参加した際のお話や、「博士進学の原因」「これからのキャリア」など、等身大の話を語ってもらったインタビュー動画などを掲載しています。進学後のリアルな姿や、多様なキャリアの考え方に触れることができます。



PhDリクルート室HPより  
ご覧いただけます

学ぶ

培う

挑む

交流促進

博士支援制度

研究室の枠を  
飛び出そう

## 新潟大学院生会

大学院生が主体となって運営する「新潟大学院生会」。大学院生相互の理解と研究交流を深め、研究、生活等の向上を図ると共に、学問研究の発展の推進力となることを目的として活動しています。PhDリクルート室は院生会と連携し、大学院生の充実したキャンパスライフに向けた支援を行っています。「院生会」という名ですが、進学の情報を知りたい学部生の皆様のイベント参加もお待ちしております！ ※入会は大学院生のみ

大学院生による・大学院生のための「第三のコミュニティ」

# 新潟大学院生会

Niigata Univ. Graduate Students Community "Inseikai"

## 院生会員+運営メンバー募集中!!

**学生主体で運営!**  
2021年~活動  
会員数は120名超!



**毎月イベント開催!**  
息抜きにぴったりな交流会  
スキルアップできるイベント



**新たな出会い!**  
対面イベントで研究室の枠を  
越えたネットワークが広がる!



**会員限定のワークスペース!**  
キャンパスを越えていつでも  
交流・相談できるコミュニティ



**仲間づくりに最高の場!**  
とにかく楽しく活動!  
お昼ご飯やランニング部なども!



お問い合わせ: niigata.inseikai@ge.niigata-u.ac.jp

Xで情報をチェック! Xアカウント: @niigatainseikai

### 1 気軽におしゃべり!

大学院生の「仲間が欲しい! 直接お喋りできる機会が欲しい!」という声にお応えした交流会です。少人数のグループで自由にお喋りを楽しみます。研究の息抜きにぴったりです!



### 2 Python講習会

講師をお招きし、2日間にわたりPythonを基礎から学ぶ講習会を開催しました。対面・オンラインの併用で実施し、学部生から博士学生まで多くの方に参加していただきました。



### 3 研究発表会

2025年の開催テーマは「知の交差点を越えてその先へ」。専門領域や学年の垣根を越えて学生が集い、活発な議論が交わされました。



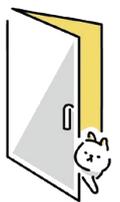
### 4 他にも様々なイベントを開催!

院生会主催のその他のイベント詳細は公式HPをご参照ください! 月に1回を目安に開催するイベントだけでなく、オンラインツールを用いた朝活や、有志のランニング部で運動など、日常的に自由な学生交流を行っています。イベントへの参加・入会を心よりお待ちしております!

HPはこちらから!



入会はこちらから!  
(大学院生のみ)



大学を  
飛び出そう

# 博士人材育成コンソーシアム連携活動

博士人材のキャリア形成や研究支援のために大学間でプログラムや知見を共有する「博士人材育成コンソーシアム」に参加しています。現在は北海道大・名古屋大・新潟大・筑波大・お茶の水女子大・東京外国語大・横浜国立大・立命館大・大阪大・神戸大・兵庫県立大・沖縄科学技術大の12大学で構成されており、各大学のイベントやセミナーに新潟大学の学生も参加可能です。各プログラムの案内は博士ポータルや学務情報システムを通じてお知らせしていますので、ぜひ活用してください。



### プログラムの共有

- トランスファラブルスキル向上プログラムの共有
- 企業と博士人材のマッチングイベントへの学生の相互参加
- 博士向け教育動画の共有

### 博士人材育成ノウハウの共有

- プログラムへの教員および学生の相互参加
- 各大学代表者による専門委員会の開催
- シンポジウムの開催
- 連携大学および企業等による博士人材育成支援に関する研究会の開催

## 2025年度実施共有プログラム（一部抜粋）

### 13大学合同！博士向け企業合同説明会2025

#### 学生参加者の声

- 博士限定の就活イベントに参加するのは初めてだったが、網羅的に多くの企業に出会うことができ、知らなかった分野にも興味を持った。
- これまで考えていなかった業界や企業についての情報を獲得できたことがよかった。情報収集として気軽に参加でき、積極的に交流を図ることで内定のチャンスが得られるイベントだった。

## 「博士人材育成コンソーシアム」で検索！

### 13大学博士クロスディスカッション

#### 学生参加者の声

- 思考の進め方や物事の見方が異なる人々と協力することで、融合研究の可能性を体感した。
- 短期間で成果を出す難しさを体感し、それが将来のチーム運営に活かせると感じた。
- 多様なバックグラウンドを持つ人々との議論や共同作業を通じて、新しい知見や考え方に触れることができた。



mini column

## 新大博士のための総合サイト！ 「博士ポータル」

博士・博士後期課程学生（DC）に必要な情報をジャンルごとに整理して公開しています。キャリアアップのためのセミナー情報だけでなく、メンターへの相談申込、院学生会情報、博士ToDoもこちらから！  
(<https://portal.phd.niigata-u.ac.jp/>)

学ぶ

培う

挑む

交流促進

博士支援制度

充実した支援制度を  
活用しよう

# 博士支援制度

近年、日本では科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士・博士後期課程学生（DC）への経済的支援を強化し、博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備を進める動きが高まってきました。

新潟大学は、2021年度よりJST「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING制度）」の実施機関として採択され、博士・博士後期課程学生（DC）を採択・支援してきました。2024年度からはこれらの制度の後継となる新しいSPRING制度に移行し、既存の枠組みにとらわれない挑戦的・融合的な研究に取り組むことができ、多様な分野でイノベーションを創出できる次世代の博士人材の育成に取り組んでいます。

## 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えた フロントランナー育成プロジェクト(次世代プロジェクト)のポイント

- 研究分野の指定なし！ 約100名/年の博士・博士後期課程（DC）を支援
- 4つの人材育成ユニット
  - ・専門深化型ユニット
  - ・キャリア型ユニット
  - ・創生型（クロスAI）ユニット
  - ・学際研究型ユニット
- 博士・博士後期課程（DC）の研究・キャリア形成に必要な支援を提供
  1. 生活費相当額の支給及び研究費の支給（条件によっては研究費のみ）+ 論文投稿費・海外渡航費支援
  2. メンターによる研究環境支援及びキャリア形成に関する助言や提言
  3. ジェネリックスキル獲得のためのセミナー、キャリア開発・育成コンテンツの提供

## 博士・博士後期課程学生（DC）の研学生活・多様なキャリアパス形成をサポート！



## 主な実施内容（2025年度）

※年度によって実施時期や内容が異なります

### アカデミックライティングセミナー

論文執筆に役立つ英語論文ライティングスキル講座を実施。  
導入編・基礎編・上級編のテクニカルライティングのほか、  
個別でのライティング面談も行っています。

### PhD リクルート室提供キャリアコンテンツ >>>> p4~9

### 博士交流会 >>>> p11

### 若手データサイエンティストコロキウム (YDSC)

5 回目開催となる2025年度は創生型ユニットと有志の次世代生が企画・運営し、  
企業の方によるデータサイエンスに関するご講演やグループディスカッション  
などを行うコロキウムを開催しました。

### マルチラボシステム (学内短期留学)

学内の他研究室で研究を行い、分野横断・融合・挑戦的研究等を  
促進するための支援制度です。  
自身の専門分野とは異なる分野への応用視点獲得をサポートしています。

### 博士学生支援プログラムシンポジウム

学生が支援によって獲得したスキルと研究についての成果報告や、  
新潟大学が育成する「博士」の姿と社会での重要性について  
共有と議論を行うシンポジウムです。



YDSC 2025 Autumn



博士学生支援プログラムシンポジウム

mini column

## 学振採択申請書WEBライブラリー

学振に採択された申請書類を公開中!

日本学術振興会の特別研究員 (DC1・DC2) に採択された研究課題の申請書を Web ライブラリーとして集積しています。実際に採択された書類はどのような構成・表現をしているのかを学び、自身の申請書にも活かしましょう。詳細は博士ポータルをチェック!

※本ライブラリーは新潟大学の大学院生のみ閲覧可能です。



## その他の支援制度・奨学金も博士ポータルでご紹介しています!

- 日本学術振興会特別研究員
- 新潟大学博士課程奨学金
- 地方公共団体・民間奨学団体の奨学金・・・等



学ぶ

培う

挑む

交流促進

博士支援制度

## 2026年度開講科目(予定)

### 【博士・博士後期課程(DC):課程共通科目】

No.	科目名	内容	開催時期
1	博士のためのキャリアマネジメントセミナー	博士のためのキャリアマネジメントセミナー	第1学期
2	博士のキャリア開発の実践	PhD リクルートフォーラム	9月10日(木)
		ジェネリックスキルセミナー	5月22日(金) 5月29日(金) 6月17日(水)
		未来の博士ゼミ	11月18日(水)
		企業研究サイトビジット	7月23日(木) 秋頃
3	博士ジョブ型研究インターンシップ	インターンシップ(1ヶ月以上)	通年

※詳細はシラバスをご覧ください。※日程等の詳細はホームページでご確認ください。

### 教員



博士イノベーター育成部門長  
副学長・自然科学系教授

本田 明治



担当教員 PhDリクルート室副室長  
特任教授

弥富 洋子



担当教員 PhDリクルート室  
特任助教

樺澤 茉宝



担当教員 PhDリクルート室  
特任助教

于 晶



PhDリサーチサポート室長  
人文社会科学系准教授

村山 敏夫



協力教員  
医学系教授

寺尾 豊



協力教員  
自然科学系教授

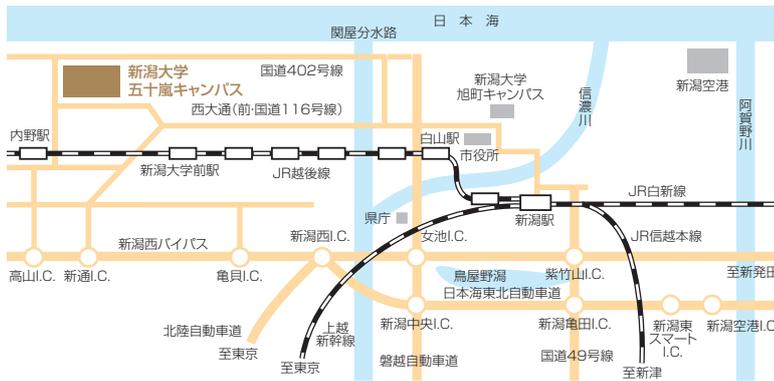
飯島 淳彦



協力教員  
自然科学系准教授

大橋 慎太郎

### アクセス

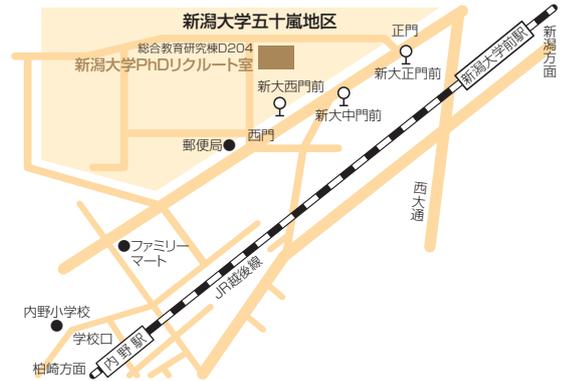


#### ■ 列車利用(JR越後線)

新潟駅～内野駅(所要時間25分)下車 徒歩で約15分  
新潟駅～新潟大学前駅(所要時間22分)下車 徒歩で約20分

#### ■ バス利用(新潟交通)

新潟駅～新潟大学西門(所要時間約45分)



### 連絡先

〒950-2181  
新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学 総合教育研究棟D204  
TEL: 025-262-7217 (内線7217)  
FAX: 025-262-7217  
E-mail: phdrecruit@gs.niigata-u.ac.jp URL: <https://www.phd.niigata-u.ac.jp>



PhDリクルート室  
ホームページ



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。